

令和5年度 第2期長久手市まち・ひと・しごと創生総合戦略の各施策事業の進捗状況一覧

資料2-1

| 基本目標 1 役割・しごとづくり (誰もが活躍できる役割・しごとをつくる) | 数値目標 | 基準値 2019(令和元)年 | 実績値 2022(令和4)年 | 目標値 2024(令和6)年 |
|--|------|--------------------|-------------------|-------------------|
| | | 地域で「たつせがある」と思う人の割合 | 33.4% | 24.0% |

| 基本的方向 | 施策・事業名 | 事業概要 | KPI(重要業績評価指標) | 目標値 令和4年度 (令和3年度) | 実績値 令和4年度 (令和3年度) | 達成率 令和4年度 (令和3年度) | 令和4年度の活動結果 | 達成できなかった理由 (令和4年度の目標値に対し、実績の達成率が100%未満の場合のみ記入) |
|--------------------------|----------------------------|---|---------------------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------|--|--|
| 市民の力を活かした新しい役割分担の仕組みをつくる | 1 ながくて地域スマイルポイント事業 | 市民活動参加のきっかけづくりのため、市民活動に参加した人に対してポイントを付与し、貯まったポイントを交換品に換えることができる事業を行う。 | ながくて地域スマイルポイント交換者数【単年】 | 600人 〔580人〕 | 518人 〔435人〕 | 86% 〔75%〕 | 市内福祉事業等におけるボランティア活動、市主催行事等への参加、市民団体が自主的に実施する奉仕活動に対してポイントを付与し、貯まったポイントを図書カード等に交換を行った。令和4年度から対象年齢を18歳以上から小学生以上に拡大。18歳未満は45人(ポイント交換は2人)が登録。 | 新型コロナウイルス感染症の影響により対面での活動が中止・制限されていたが、令和4年度からは制限が徐々に緩和され、参加できる活動が増加した。そのため、交換者数は昨年度よりも増加したが、活動の回数を制限している団体もあり、還元品と交換できるポイント数(10ポイント)までためることが困難であったため。 |
| | 2 まちづくり活動補助事業 | 市民が日常生活の中で気がついたことや地域の課題を、市と協働して解決する取組を応援する「まちづくり活動補助事業」を行う。 | 協働まちづくり活動補助団体【単年】 | 9団体 〔9団体〕 | 8団体 〔4団体〕 | 89% 〔44%〕 | ・8団体に対し補助を行った。 ・事業担当課から新たに協働したいテーマが示されたため、2次募集を行った。 | 目標値を超える数の申請があったが、審査により3団体が不採択となったため。 |
| | 3 学生まちづくり活動支援事業 | 市内4大学および周辺大学と連携し、大学の持つ知的財産や人材、学生の持つ若い力を生かすための仕組みづくりに取り組み、学生のまちづくり活動を支援する。 | 大学連携事業(継続事業)実施件数【単年】 | 35件 〔35件〕 | 40件 〔26件〕 | 114% 〔74%〕 | 市内4大学と近隣大学の学生が中心となり、国際交流協会や長久手消防署や社会福祉協議会、安心安全課などが連携する防災イベントを開催。当日は、200名の来場者と50名の学生の参加により、リノモテラス公益施設と長久手中央2号公園一帯に活気が溢れた。 | — |
| 「農ある暮らし」で好循環をつくる | 4 アグリサポート振興事業(旧:アグリサポート事業) | アグリサポート振興事業を導入し、農地のマッチング等、様々な人が行う農に関わる取組を応援します。 | 農地の貸し手と借り手のマッチング件数【単年】 | 準備 (令和6年度より事業開始目標値5件) | 準備 | — | ・農業用機械等貸出事業について、令和5年度開始に向けて、検討を行った。 ・令和5年度よりアグリサポート振興事業を導入するための組織形態及び委託先の活動内容について検討を行った。 | — |
| | 5 農福連携事業 | 農業を活用した障がいのある人の雇用機会の拡大や、人手不足による耕作放棄地の有効活用のため、農福連携に取り組む。 | 農業に携わった障がいのある人の人数【単年】 | 30人 〔30人〕 | 58人 〔53人〕 | 193% 〔177%〕 | 農福連携を行う事業所への研修等の情報提供や取組状況の情報収集を行った。農福連携に興味があるという事業者からの相談対応も行った。課題としては、農業に取り組む障がいのある人は増加傾向にあるが、事業者の田畑の管理体制は十分ではないため、これ以上増やすことは難しいと考える。 | — |
| 民間活力をまちづくりに活かす | 6 女性活躍推進事業 | 女性が活躍でき、男女がともに仕事と家庭の両立した生活を送ることができる環境づくりのため、理解促進・啓発事業を行う。 | 女性活躍推進に係る出前講座開催回数【単年】 | 3回 〔3回〕 | 2回 〔3回〕 | 67% 〔100%〕 | 育児などで離職し再就職を目指す女性を対象に、マザーズパソコン再就職セミナー、職場復帰再就職準備セミナーそれぞれ1回実施した。各講座では、職務経歴書及び履歴書の作成方法や仕事や家事、育児に追われる中で自分の時間の作り方を考えるワークなどを行った。 | 新型コロナウイルス感染症の影響で、実施希望が少なかった。 |
| | 7 市民・民間・行政のプラットフォーム形成事業 | 市民、民間企業、行政で今後の連携のきっかけになるようなネットワークづくりを推進し、行政にはない市民や民間事業者の知見や活力、資源をまちづくりに生かし地域課題を解決する公民連携に取り組む。 | 市民・民間・行政のプラットフォームで取り組む地域課題数【累計】 | (令和6年度までに1つ) | 0つ | — | 包括連携協定を結ぶ中北薬品㈱や㈱スギ薬局と連携し、イベントの協力や商品の提供等を実施した。また、イオンモール長久手と会場提供、PRの協力、専門店へのイベント協力依頼等で連携した。 | — |

完了とした事業

| 基本的方向 | 事業名 | 事業概要 | 完了とした理由 |
|--------------------------|-----------------|---|--|
| 市民の力を活かした新しい役割分担の仕組みをつくる | まちづくりセンター機能強化事業 | 市民活動団体の活動拠点として、まちづくりセンターの運営体制を強化する。 | まちづくりセンターの運営を考える会で検討し、まちセンコーディネーターが市民活動団体の相談を受ける体制が整ったため完了とする。 |
| 「農ある暮らし」で好循環をつくる | あぐりん村再整備事業 | あぐりん村(田園バレー交流施設)の新たな魅力を創出するため、売り場の拡大や充実等の再整備を行う。 | 令和2年度にあぐりん村の増築棟の建築が完了したため。 |
| 民間活力をまちづくりに活かす | 住民起業支援塾事業 | 地域の課題を市民が主体となって解決するため、ビジネスの手法を活用し、仕事として報酬を得ながら事業を持続的に継続する「コミュニティビジネス」の起業に必要な知識を学ぶ講座を行う。 | 令和3年度より事業主体が商工会に移管されたため完了とする。 |

| 基本目標 2 子育て支援 (子どもを通して家族と地域の輪が広がるまちをつくる) | 数値目標 | 基準値 2012(平成24)年 | 実績値 2015(平成27)年 | 目標値 2024(令和6)年 |
|--|------------------------------------|--------------------|--------------------|-------------------|
| | 合計特殊出生率 | 1.55 | 1.67 | 1.6 |
| | 数値目標 | 基準値 2019(令和元)年 | 実績値 2022(令和4)年 | 目標値 2024(令和6)年 |
| | 安心して子どもを産み、育てることができるまちだと思 う人の割合 | 58.8% | 68.3% | 65.0% |

| 基本的方向 | 施策・事業名 | 事業概要 | KPI(重要業績評価指標) | 目標値 令和4年度 (令和3年度) | 実績値 令和4年度 (令和3年度) | 達成率 令和4年度 (令和3年度) | 令和4年度の活動結果 | 達成できなかった理由 (令和4年度の目標値に対し、実績の達成率が100%未満の場 合のみ記入) |
|--------------------|----------------------|--|---------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|--|---|
| ア 子育てしやすい 環境の整備 | 8 子ども預かり事業 | 市の子育て支援センター事業として、高齢者生きがいセ ンター1階作業室を改修し、「子どもの預かり室 ことり ルームびっぴ」を設立。保護者の就労形態や生活スタイル が多様化するなか、子育てできる環境を整備するた め、子ども預かり事業を実施。 | 子ども預かり事業延べ利用者数 【単年】 | 1,000人 (1,000人) | 1,703人 (1,591人) | 170% (159%) | 子育て中の保護者を対象に医療機関・健診の受診や短時間 の就労及び買い物等の間、育児から離れる時間を確保するこ とを目的とし、子どもの預かりを行った。 | - |
| | 9 女性活躍推進事業(再掲) | 女性が活躍でき、男女がともに仕事と家庭の両立した生 活を送ることができる環境づくりのため、理解促進・啓発 事業を行う。 | 女性活躍推進に係る出前講座開催 回数【単年】 | 3回 (3回) | 2回 (3回) | 67% (100%) | 育児などで離職し再就職を目指す女性を対象に、マザーズパ ソコン再就職セミナー、職場復帰再就職準備セミナーそれぞれ 1回実施した。 各講座では、職務経歴書及び履歴書の作成方法や仕事や家 事、育児に追われる中で自分の時間の作り方を考えるワーク などを行った。 | 新型コロナウイルス感染症の影響で、実施希望が少なかっ た。 |
| | 新 公立保育園ICT化推進事業 | 保護者の利便性向上や保育士の負担軽減を目的に、連 絡帳、行事予定やお便りの配信等の様々なコミュニケー ションを電子化する等、保育園のICT化推進のためのシ ステムを導入する。 | システムの導入 | (令和5年度 導入予定) | - | - | - | - |
| | 新 公園施設等改修事業 | 都市公園や児童遊園等の経年劣化した遊具、設備など の施設修繕や更新等を行う。 | 遊具等の施設取替え件数 | (令和6年度 目標値3件) | - | - | - | - |
| | 新 子ども読書環境充実事業 | 子どもの読書活動の推進を目的に、保育園や児童館、 地域共生ステーション等に本の貸出しを行っており、子 どもの身近に本がある読書環境の整備・充実に努める。 | 児童図書の購入数【単年】 | (令和6年度 目標値150冊) | - | - | - | - |
| イ 地域で支え合う 子育て支援 | 10 保育園児童館等地域交流事 業 | 若者から高齢者までの幅広い世代の地域住民が保育園 や児童館等の環境整備や行事にボランティアとして関わ ることで、子どもたちとの交流を推進する。 | 保育園児童館等地域交流事業登 録者数【単年】 | 150人 (140人) | 140人 (127人) | 93% (91%) | ・保育園のおさんぽの付き添いや、保育用品の作成などに延 べ768人が参加した。 ・児童の遊び相手、低木剪定などの環境整備、行事のサポート 、イベントの講師などに述べ374人が参加した。 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、新たな参加者の募 集が困難であったため。 |
| | 11 子どもチャレンジ事業 | 子どもが抱いた「夢」や「学習」等に対して、子ども自ら課 題を見つけ、達成する過程で主体性を育成する取組を 行う。 | 子どもチャレンジ事業取組人数【単 年】 | 20人 (10人) | 4人 (未実施) | 20% (-) | ・サポーター6人参加 ・チャレンジャーがそれぞれやりたいことに挑戦し、中間報告 会、完了報告会で発表した。 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、本人・保護者の不安 が解消できなかったため。 |

資料2-3

| | | | | |
|---|------------------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| 基本目標 3 地域コミュニティ・地域福祉 (地域のつながりを構築し、元気に安心して暮らせるまちをつくる) | 数値目標 | 基準値 2019(令和元)年 | 実績値 2022(令和4)年 | 目標値 2024(令和6)年 |
| | 地域活動や行事にスタッフとして参加したことがある人の割合 | 18.9% | 13.7% | 35.0% |
| | 数値目標 | 基準値 2015(平成27)年 | 実績値 2020(令和2)年 | 目標値 2024(令和6)年 |
| | 健康寿命 | 男性 80.2歳 女性 85.0歳 | 男性 82.8歳 女性 86.2歳 | 延伸 |

| 基本的方向 | 施策・事業名 | 事業概要 | KPI(重要業績評価指標) | 目標値 令和4年度 (令和3年度) | 実績値 令和4年度 (令和3年度) | 達成率 令和4年度 (令和3年度) | 令和4年度の活動結果 | 達成できなかった理由 (令和4年度の目標値に対し、実績の達成率が100%未満の場合のみ記入) |
|-----------------------|---------------------|--|--------------------------------|-------------------------|--------------------------|-------------------------|---|--|
| 市民が支え合う コミュニティをつくる | 12 まちづくり協議会設立運営支援事業 | 自治会をはじめ、子ども会やシニアクラブ、企業、機能別のNPO、各種活動団体等の団体をネットワーク化したまちづくり協議会を北小学校区に設立し、設立準備会を南小学校区に設立することを目指します。また、長久手小学校区、東小学校区についても、まちづくり協議会設立に向けての支援を行う。 | まちづくり協議会設置数【累計】 | 3 団体 〔 3 団体〕 | 2 団体 〔 2 団体〕 | 67% 〔 67% 〕 | ・北小学校区まちづくり協議会設立に向けた事務局の設置についての打合せを進めた。 ・南小学校区地域共生ステーションを利用する団体等による「南を考える会」を開催した。 | ・まちづくり協議会の設立については、地域で考え、意見をまとめ、合意形成を図っていくことが重要であるため。 |
| | 13 多文化共生社会事業 | 外国人市民のニーズや国際情勢、本市における多文化共生の実態を把握し、外国人市民が地域の一員として活躍・生活することができるよう、多文化共生の地域づくりや国際交流意識の醸成に取り組む。 | 多文化共生促進事業実施回数【単年】 | 3 回 〔 3 回 〕 | 7 回 〔 7 回 〕 | 233% 〔 233% 〕 | ・長久手市多文化共生推進会議(有識者会議、2回開催、のべ17人出席)、長久手市多文化共生推進連絡会議(庁内会議、2回開催、のべ20人出席)、学校への日本語学習サポーター派遣事業、リモテラス公益施設を会場とした「NIAつどいの広場」や「防災サバイバルフェス」を実施した。 | - |
| | 14 国際交流協会支援事業 | 多文化共生の地域づくりや国際理解・交流の促進に取り組むため、長久手市国際交流協会への支援と連携を行う。 | 国際交流協会が実施する多文化共生推進事業への参加者数【単年】 | 2,900 人 〔2,900 人〕 | 6,198 人 〔4,145 人〕 | 214% 〔 143% 〕 | ・多文化共生推進事業として、日本語教室(木曜日・土曜日、月3~4回)、こどもにほんご(日曜日、月3~4回)、NIA集いの広場(毎週土曜日)等を実施した。 ・リモテラス公益施設及び長久手中央二号公園を会場とし、国籍問わず防災を体験しながら学べる「防災サバイバルフェス」を開催した。 | - |
| | 15 防災士育成事業 | 地域防災を担う人材育成のため、防災士資格取得費用の助成を行うことで資格取得を促進する。 | 防災士資格取得の助成件数【単年】 | 12 件 〔 9 件 〕 | 1 件 〔 1 件 〕 | 8% 〔 11% 〕 | ・市広報紙、市ホームページ及びチラシの窓口配布等による制度の周知を行い、防災士助成を1人に実施した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、助成人数が1人に留まった。 | 防災士資格取得試験を受験するためには、その前に日本防災士機構が認証する研修を受講する必要があるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、比較的安価で受講できる認証研修が令和2、3年度は実施されず、そのためそれぞれ翌年度である令和3、4年度の助成件数が1件ずつに留まった。なお、令和4年度は安価な認証研修が実施されたため、令和5年度の助成件数は、10月末時点において4件となっている。 |
| | 16 自主防災活動支援事業 | 地域の自主防災活動の活性化のため、自主防災組織が開催する防災講習会や防災資機材の貸与等の活動支援を行う。 | 自主防災倉庫設置数【累計】 | 58 地区 〔 57 地区 〕 | 57 地区 〔 57 地区 〕 | 98% 〔 100% 〕 | ・地域住民の主催により実施される自主防災講習会について、コロナ禍においても消毒や3密回避など基本的な感染症対策を徹底して実施し、1,951人が参加した。 ・コロナ禍等により、活動が停滞する自主防災組織もあった。 | ・前年度、積極的に防災活動に取り組んだ地区について、翌年度、自主防災倉庫設置・資機材の貸与となる。 ・前年度である令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、積極的な防災活動が困難だったため、令和4年度に倉庫設置・資機材貸与となる地区はなかった。 ・なお、令和4年度は、積極的に防災活動に取り組んだ地区が2地区あったため、この2地区に対して令和5年度に倉庫設置・資機材貸与を行う予定である。 |
| 市民の健康寿命を延ばす | 17 公共交通ネットワーク構築事業 | 長久手市地域公共交通会議を開催し、交通事業者、行政、市民が連携しながら、地域公共交通の確保・維持及び活性化を図り、地域にふさわしい公共交通の構築を行う。 | 市内公共交通の利用者数【単年】 | 5,411 千人 〔5,367 千人〕 | 4,615 千人 〔 3,912 千人 〕 | 85% 〔 73% 〕 | 公共交通応援隊キッズイベントグループが、8月に市内児童館6箇所子ども向けイベントを開催した。合計222人の子どもが参加し、公共交通の啓発を行った。 新たな取組としては、N-バスの啓発として市役所庁舎内でカプセルトイレを設置し162個を販売した。 (備考) 令和4年4月1日よりN-バスの65歳以上の利用者の運賃を有料化(100円)した。 | ・新型コロナウイルス感染症の影響が依然として残っており、外出を自粛する方がいたため。 ・N-バスの高齢者運賃を有料化したため。 |

| 基本目標 4 観光交流 (地域の魅力を活かし、賑わい・活気・交流をつくる) | 数値目標 | 基準値 2018(平成30)年 | 実績値 2022(令和4)年 | 目標値 2024(令和6)年 |
|--|--------------------------|--------------------|-------------------|-------------------|
| | 観光交流者数 | 約340万人 | 約324万人 | 約370万人 |
| | 数値目標 | 基準値 2019(令和元)年 | 実績値 2022(令和4)年 | 目標値 2024(令和6)年 |
| | 地域における自慢すべき「宝」があると思う人の割合 | 42.7% | 37.5% | 50.0% |

| 基本的方向 | 施策・事業名 | 事業概要 | KPI(重要業績評価指標) | 目標値 令和4年度 (令和3年度) | 実績値 令和4年度 (令和3年度) | 達成率 令和4年度 (令和3年度) | 令和4年度の活動結果 | 達成できなかった理由 (令和4年度の目標値に対し、実績の達成率が100%未満の場合のみ記入) |
|---------------------------------|-------------------------------------|---|-----------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|---|---|
| 地域資源を活かした長久手の魅力とオリジナリティを創造・発信する | 18 観光交流協会支援事業 | 長久手市観光交流協会が行う、観光PRやイベント実施、交流の場の創出、新たな地域資源の発掘等。長久手市ならではの魅力的な観光交流まちづくりの実現のために必要な事業を支援する。 | 観光交流協会新規事業の実施件数【累計】 | 11件 { 8件 } | 13件 { 7件 } | 118% { 88% } | ・ジブリパークの開園及びNHK大河ドラマ「どうする家康」の放映がトピックとして上げられていたため、これを活用した事業(長久手楓まつり、観光交流協会HPの刷新等)及び昨年度からの事業から発展させるような事業(外国人向けお土産パッケージ開発)を展開した。 ・モリコロパーク西口での観光案内所事業等新規事業を実施した。 | - |
| | 19 アートのまちフェスティバル事業 | 文化の家をはじめとする各施設、ギャラリー等市内全域で行われるアートの祭典を、市民やアーティスト・大学等とのパートナーシップで運営する。 | アートフェスティバル来場者数【単年】 | 18,900人 { 18,800人 } | 1,922人 { 10,344人 } | 10% { 55% } | ながくてアートフェスティバルは、令和3年度より開催が隔年に変更になったため、開催しなかった。実績値としては、国際芸術祭の来場者数を記載している。 | ながくてアートフェスティバルは、令和3年度より開催が隔年に変更になったため、開催しなかったため。 |
| | 20 長久手版プレーパーク整備事業 | 子どもが用意されたプログラムの中で体験活動をするのではなく、子ども自身の意思と自由な発想のもとで遊ぶことができる里山を整備する。 | 長久手版プレーパーク整備箇所数【累計】 | 0箇所 | (令和6年度までに1箇所) | - | 令和4年11月に体験会「プレーパークって何だろう?～体験しながら考える。子どもとアソビと地域の未来～」を開催。前記についてのニュースレター第7号を発行(ホームページ掲載を含む)し、情報の拡充を図った。 課題としては、市民実施者の育成、プレーリーダーの発掘が挙げられる。 | - |
| | 21 歴史民俗体験施設整備事業(旧:古民家活用事業) | 江戸時代後期の建築とされ、市内に現存する最古の古民家について、この地域のくらしや歴史文化を後世に伝えるため、歴史民俗体験施設として、古戦場公園に整備する。 | 復元する古民家の棟数【累計】 | 0棟 | (令和6年度までに1棟) | - | ・古民家の解体工事及び建築工事の設計業務を行った。 ・古民家移築に関する市民ワークショップを4回開催し、大学生、外国人の方を含む延べ106人が参加した。 | - |
| | 新 ジブリパーク関連事業 | ジブリパークへの親しみや誇りを持ってもらうと共に歓迎する機運をたかめるためにPR事業を行う。 | ジブリパーク関連事業に関するPR事業実施数 | (令和6年度目標値 1件) | - | - | - | - |
| 人が集まり情報の発信が行われる交流の場の創造 | 22 リリモテラス公益施設管理事業(旧:リリモテラスにぎわい創出事業) | 令和3年にオープンしたリリモテラス公益施設において、指定管理者制度による新たな管理者と市民活動団体が、公民連携による適切な管理運営を行うことで、新たなつながりと賑わいを創出する。 | リリモテラス公益施設来館者数【単年】 | 60,000人 { - } | 36,408人 { - } | 61% { - } | ・NIA集いの広場、夏祭り子ども縁日、市内大学学生WS等229回のイベントを実施した。 ・市民活動の活躍・発信の場としても認知されてきたことから、事業におけるプレイヤー(活用主体)が増加してきた。 | 新型コロナウイルス感染症の影響や、当該施設の交流プログラム等を効果的にPRできなかったため。 |